

はが

笑顔で介護をするために

「憩いの会」

「憩いの会」は、在宅で介護をされている方や介護の経験がある方、この会の活動に賛同し協力してくださるボランティアなどを会員として、会員の中で世話役を決め、自主的に活動を続け今年で5年目を迎えます。

『気分がリフレッシュでき気軽に参加できる場』をめざして、介護の悩みを相談したり、制度やサービスについての学習会や健康体操教室など、健康面にも気をつけながら活発な活動を行っています。

また、市民局と社協が協力し市全体の交流会や、年数回「介護者のつどい」を開催しています。今年度最初のつどいは、リフレッシュするため「姫路菓子博」に行ってきた

「憩いの会」会員募集

と き：毎月第1月曜日

10：00～12：00

ところ：メイプル福祉センター
介護に関する相談などお気軽にお問い合わせください

<波賀支部>

TEL 75-3631

(波賀支部 森井裕矢)

した。参加者は会員と家族16名でした。社協は、介護のアドバイスやサービスの紹介、専門機関との連携など、「介護」に対する不安や負担を少しでも軽減するために、「憩いの会」の活動を応援しています。



「すごい人やなあ」「どこまで続いとんやろ…」
人の多さにびっくり!!
(4/21(月) ひめじ菓子博にて)

ちくさ

ちくさ高原スキー場で

千種北小 感謝のクリーン作戦

5月1日(木)、千種北小学校の全校児童25名と教員8名が、ちくさ高原スキー場でクリーン作戦を行いました。同校では、毎年3学期の体育の授業を利用し、7～8日間、『一日スキー教室』を行っています。

ます。

無償でお世話になったスキー場へのお礼として、15年前から、クリーン作戦を行い、今



広いグレンデで、一生懸命ごみを拾う児童たち

では学校の伝統行事となっています。雪がやっと融けたグレンデや建物周辺には、タバコの吸殻や飴の包み紙などがたくさん落ちていました。

「こんなにごみが多いとは思わなかった」「僕らも気を付けなあかん」と児童たち。

スキー場の関係者も、「毎年、子どもたちが気持ちよく清掃してくれるので助かります」と喜んでおられました。

年々、児童の数が減少してきていますが、今後も感謝の気持ちを大切に続けてほしいと思います。

(千種支部 山本めぐみ)



「いろんなものが落ちとったなあ」
スキー場の頂上でやれやれ…